

# 経営実践セミナー

人材育成委員会主催 (H 31.3.12)

会員相互の交流と今後の企業経営に資するべく、恒例の「経営実践セミナー」を開催致しました。

今回は、「大失敗賞」というユニークな表彰制度を設け、失敗を恐れず挑戦していく社風作りに取り組まれている太陽パーツ㈱の城岡社長様のご講演と共に、会員企業2社から取組事例のご紹介を頂きました。

<講演>

太陽パーツ㈱ 代表取締役 城岡陽志 様  
テーマ 『失敗から学ぶ人材育成』

30歳で独立し軌道に乗ってきた頃、取引先の詐欺に遭って大失敗した。三流は三流としか取引できないと、一流を目指して頑張った。

会社を発展させる人材の育成にも取り組んだが、失敗を恐れて挑戦しない状況が見られた。その時、ある社員が多額の損出を出す大きな失敗があり、社内が暗くなっていた。空気を変えて挑戦意欲を高めるため、「大失敗賞」という褒賞制度を設けた。

真面目に渡すと嫌みなので、失敗はしたが会社のノウハウになった事を説明し、挑戦した本人をフォローして褒めて渡している。失敗による損失金額は教育費用と割り切っている。

「大失敗賞」意外にも、相手のよい所を見つける「良いところ探し賞」や、目立たないが皆の為に努力している人に「縁の下の力持ち賞」などの賞を設けて、みんなの前で表彰している。

報奨制度はゲーム感覚で遊び心を重視して、伸び伸び仕事をしてくれる効果が出て、社員が成長し成果が出て、会社が発展する善循環となった。

サラリーマンの経験を反面教師に、挑戦する難しさが良く分かる。失敗を褒めて挑戦する社風作りが大切であり、仕事を通じて人は成長するので、頑張れる舞台作りが会社の大事な使命と思う。



太陽パーツ㈱  
代表取締役  
城岡陽志氏



<取組事例①>

㈱M. T. C 代表取締役 森 久次様から事例のご紹介を頂きました。

当社は、住宅設備・鋼製家具等の金属部品を製造しており、人材の育成・活用に様々に取り組んでいる。

従前は年功序列であったが、若くても出来る人には報いる年俸制の様な評価システムを導入した。

また改善により、プレス回数を減らして加工単価を上げることで、高単価・低価格での提案が強みとなっている。

経営強化へ補助金・助成金を積極的に活用し、ものづくり補助金は6回の内5回採択された。事業計画書も最初は失敗したが指導を受けて自らやり直し、大変勉強になった。また人材教育も社内クラス別勉強会など積極的に活用して行っている。

設備や人材も揃ってきたので、今後は工場規模の拡大と社内一貫生産体制の構築を進めたい。



㈱M. T. C  
代表取締役  
森 久次氏

<取組事例②>

ヨシリツ㈱新規事業開発部部长 河部 勇様から、事例のご紹介を頂きました。



ヨシリツ㈱  
新規事業開発部部长  
河部 勇氏

当社は、知育玩具等の企画開発・製造販売をしている。当初、ビールの栓をワンタッチで開けられる器具を開発し販促商品として軌道に乗ったが、主流が缶に変わる中で、安定的に売上を確保するために、LaQという知育玩具を開発した。

初めは六面のブロック形を開発したが、重たくコストも掛かるので、平面・スリムな形にした。

四角形・三角形等の各パーツを使って様々な形に組み立てて、想像力を形にすることが出来る。

当初おもちゃ屋に展開したがうまく行かず、販路開拓により本屋から売れ始めて広がって行った。

「心が動くときに商品が動く」の信念から、感性に訴え欲しいと思える商品開発を心掛けている。

今後も利用者本意で快適に過ごせる商品作りに、経営理念を大事にしながら取り組んでいきたい。

セミナー修了後に、交流懇親会を設けて、参加者の相互の交流を深められ有意義な時間となった。